

プラウドシティ浦和

PROUD CITY URAWA

No. 20-020-2013作成

新築
集合住宅

発注者	野村不動産株式会社	カテゴリー				
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション HASEKO Corporation	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	株式会社長谷工コーポレーション	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

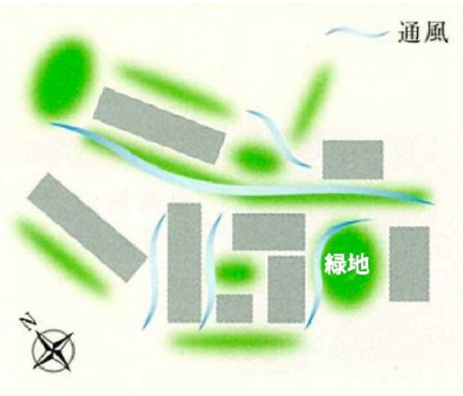
2万4千本の緑がうるおう次世代につなぐ街

センタープロムナードを骨格とした街づくり

総開発面積2.2haの敷地に、6棟の集合住宅、2棟のコミュニティ施設、2つの公園と3つの広場からなる、幅員11mの並木道を中心とした街並みの開発。敷地を南北に縦断する道路は、周辺地域から長らく課題とされていたインフラ整備を解決するとともに、地域に開かれた街を形成している。約2万4千本の樹木が緑豊かな子育て環境をつくり、周辺地域へコミュニティの輪を広げる。建物は、風の通り道や、陽の降り注ぐ温かい広場、居住者と地域の人々が自然に集まりやすい環境に配慮した配置としている。多世代の家族が、個性を活かしながらライフスタイルを築き、それが街並みの創造や、地域コミュニティの成熟へとつながる。



センタープロムナード



地域とのつながりが実現した夏祭り



ゆたかな子育ての環境



住棟とセンターコアの俯瞰



地域のコミュニティ形成の中心となるステージ形状の広場 (提供公園)

浦和GreenComfort～うるおいの育まれるまち～

プラウドシティ浦和は、【家族とすまい、エリアコミュニティ、人と緑が、緑の空間を通じてうるおいに包まれていくまちづくり】をコンセプトとして計画された集合住宅。緑化率30%を超える開発敷地内には、街の景観を象徴するセンタープロムナードの並木、壁面緑化の技術を採用した緑化ウォール、敷地内に残された貴重な既存樹を活用した「オータムフォレスト (どんぐりの森)」、家族がのびのび遊べるアクティビティ空間であるファミリーパークなど、様々な演出された緑地がつながりをもって配置され、緑のネットワークを形成している。これら緑豊かな共用施設やオープンスペースを活用してコミュニティづくりを楽しめるようミニコンサートやガーデニング教室等の住民参加プログラムを実施している。

また、本施設の植栽計画は、地域の在来種を中心とした多種多様な植物により構成し、周辺調査に基づく野鳥や昆虫類の誘引や生育を促進する植物多様性保全の環境整備を目指して計画している。



ミニコンサート会場も兼ねるセンターハウス



高い緑地率の確保。古くから息づいてきた既存種目の保存・再生。そうした取り組みが認められ、「プラウドシティ浦和」は財団法人都市緑化機構による「SEGES (シージェス)」を都市開発版の本格運用において、首都圏のマンションで初めて取得。「緑を保全・創出する優良な計画」と評価認定された。

また、子育てにやさしいマンションとして、「埼玉県子育て応援マンション」設計認定を取得。マンション内の住戸、共用部などの仕様や子育て支援サービスの提供など、ハード・ソフトの両面において子育てに配慮したマンションを埼玉県が認定する制度を採用している。



水の音と季節を感じるプライベート空間

設計担当者

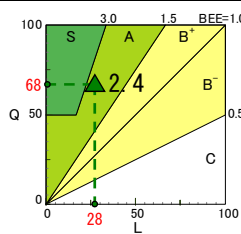
統括：小島俊司/建築：岩館公治/ランドスケープ：山本富雄/構造：小島康幸/設備：荒木信博、渡辺俊彦

建物データ

所在地	埼玉県さいたま市
竣工年	2013年
敷地面積	19,788㎡
延床面積	A敷地5,093㎡、B敷地26,756㎡、C敷地5,960㎡、D敷地6,110㎡
構造	RC造
階数	A敷地地上12階、B敷地地上14階、C敷地地上14階、D敷地地上7階

CASBEE評価

Aランク
BEE=2.4
2010年度版
自治体提出
A敷地
(BEE B敷地2.4/C・D敷地2.3)



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

1. 生物環境の保全と創出 (高い緑化率、既存樹木の保存の取り組み)
2. まちなみ・景観への配慮 (周辺環境への調和、街並みの形成)
3. 地域性・アメニティへの配慮 (地域へ開放した公園や保育施設を計画)